

2016/6/20

参議院選挙神奈川県選挙区選挙候補予定者各位

＜アンケートのお願い＞

拝啓 梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。参議院議員選挙を7月に控え、大変ご多忙中のことと存じます。

候補予定者の皆様に私たちが現在強く懸念する「放射能汚染土の再利用について」等の考え方をお伺いするべくアンケートを実施させていただくこととしました。

原発から出た100ベクレルを超える放射性廃棄物は六ヶ所の処理施設で厳重管理する規制がありました。しかし、原発事故後、環境省は8000ベクレルまでは一般ごみとして焼却処理を認め、さらに6月7日に放射能汚染した除染土を8000ベクレルまでは再利用すると決定しました。具体的には、道路建設や防潮堤、河川堤防、線路の盛り土などがあり、さらに産業廃棄物処分場への産廃として埋め立てることも予定されています。

放射性物質は「集中して管理する」という本来のやり方とは逆を行くもので、放射性物質を全国にばら撒くこととなります。管理型の処分場でさえ、周辺や地下水の汚染は避けられませんが、ましてや通常の公共事業の構造基盤に使うとなれば基礎に埋め込まれた汚染土がいずれ降雨や地震などによって漏出し生活圏を放射能汚染することになるでしょう。そして工事従事者の被曝は避けられません。

加えて放射性廃棄物の処理基準を下げ続ける日本が世界の放射性廃棄物の格好のゴミ捨て場にされようとしています。仏ヴェオリア社が放射線量が低いごみの処理事業を日本で始める計画を明らかにしました(4月16日日経)。先進国では古い原発が寿命を迎え、多くの閉鎖・廃炉が見込まれます。原発の解体で出る放射能レベルの低いごみは重量で全体の9割を超えます。ヴェオリアはこのごみ処理を日本で始めるそうです。

処分場が見つからない他国からみれば、100ベクレルを超える放射性廃棄物が一般ごみとして焼却処理でき、建築資材、道路資材として全国で処理できるという、海外では考えられないことができてしまうのが日本という国なのです。若い人たちは、日本で子どもを産み育てることができなくなると叫び声を上げています。

大変、ご多忙中恐縮ではございますが、回答用紙にご記入の上、同封の返信用封筒にて郵送もしくはFAXにて6月25日(土)までにご返信いただきますよう、よろしくお願い致します。

いただいた回答は、回答がなかった場合も含めて、すべてそのまま公表させていただくこととしています。

何卒よろしくお願い申し上げます。

放射性廃棄物処理アンケート実行委員会

＜アンケート返却・実施窓口＞ ビジョン21事務局

回答用紙

回答選択肢のなかで、

- 1 強く賛同する。私が（当選した場合）国会での提案の主体になってもよい。
- 2 国会で提案されれば（当選した場合）賛同する。
- 3 保留。今の知識では判断できない。
- 4 賛成しない。
- 5 その他 コメントのみ

の当てはまるものに○をつけてください。

政策提言	回答選択肢
1 放射性物質が付着した廃棄物の再生利用を禁止する	1 2 3 4 5
2 放射性物質が付着した廃棄物の焼却処理を禁止する	1 2 3 4 5
3 放射性物質が付着した廃棄物は 人が住めない事故原発敷地に集中保管する	1 2 3 4 5
4 原発事故避難者の帰還促進政策を改める	1 2 3 4 5

<自由回答>

【番号】 _____

【番号】 _____

【番号】 _____

【番号】 _____

氏名： _____（所属政党： _____）

連絡先： 電話番号 _____ Email _____ 担当者名 _____